

安倍首相の五輪招致演説＝“5つの偽証罪”で決まった、2020年東京五輪

【安倍首相の五輪招致演説（冒頭部分）】

委員長、ならびに IOC 委員の皆様、東京で、この今も、そして①2020年を迎えても世界有数の安全な都市、東京で大会を開けますならば、それは私どもにとってこのうえない名誉となるであります。

②フクシマについて、お案じの向きには、私から保証をいたします。状況は、統御されています。③東京には、いかなる悪影響にしる、これまで及ぼしたことはなく、今後とも、及ぼすことはありません。

さらに申し上げます。④ほかの、どんな競技場とも似ていない真新しいスタジアムから、⑤確かな財政措置に至るまで、2020年東京大会は、その確実な実行が、確証されたものとなります。

**偽証罪①** 東京が世界有数の安全な都市ならば、テロに名を借りて、市民を監視・弾圧するための「共謀罪」は、必要無し。法律が仮にあったとしても、パリやロンドン・ベルリン等の自爆テロは、防げないのが現実。

**偽証罪②** 福島第一原発では、放射能汚染水が今も増え続ける。溶融した核燃料の状況はほとんど分からず、事故終息の目処立たず。

**偽証罪③** 2013年夏の首都圏の計画停電は、もう忘れたのか。東京も放射能のホットスポットになって、除染作業をした。金町浄水場も、放射能汚染によって一時停止をした。

**偽証罪④** 首相の言う新国立競技場は、工事費の膨張が世論の反発を招き、建設計画を白紙撤回。

**偽証罪⑤** 開催費が立候補時の7,340億円から1兆円超えに膨張。国・東京都・他の開催自治体・五輪組織委員会の間で、費用の分担は未だ決着せず。

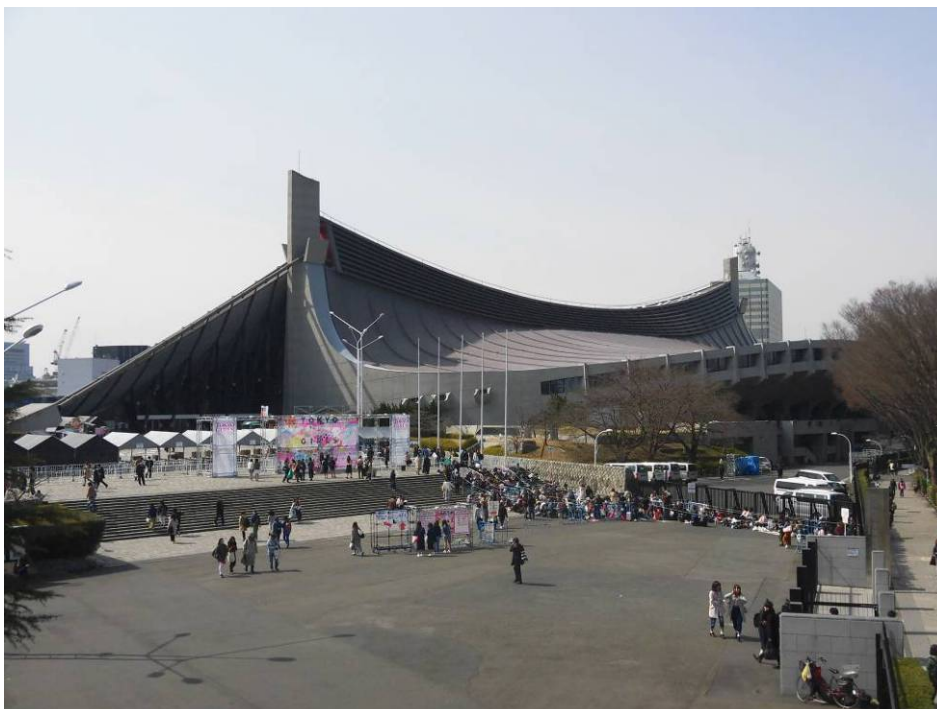
1936年のベルリン五輪—「ヒットラーの五輪」として五輪を政治的に利用 ナチスドイツの国威発揚の場に

安倍自公連立政権—日本国憲法を改悪して、世界で戦争するために、2020年東京五輪を政治的に利用、「安倍の五輪」には絶対にさせてはならない！

1936年のベルリン五輪は、「ヒットラーの五輪」として、ナチスドイツは「ゲルマン民族の優秀性、ユダヤ民族の虐殺」を正当化するために、五輪を政治的に利用しました。ナチスが世界の情勢を知るために、聖火リレーもベルリン五輪から始まりました。

1940年の東京五輪は、第二次世界大戦と大東亜戦争とによって、中止になりました。自衛隊の海外派遣とテロによって、2020年の東京五輪、中止にさせてはいけません。

【1964年東京五輪の会場 国立代々木競技場（原宿）】



【止めよう！辺野古埋立て 共謀罪法案は廃案に！6・10国会大包囲（国会議事堂前）】



6月15日未明、法務委員会を通さずに参議院本会議で強行採決された「共謀（凶暴）罪法案」。政党（団体）自らが、市民の監視・密告・弾圧に手を貸す、自民党（日本会議）、公明党（創価学会）、日本維新の会の暴挙を許すわけにいきません。

“「もり」に「かけ」 まだありそうな 安倍のそば（蕎麦・傍）”